

議会 だより



新しい岐阜県議会議事堂～11月政務調査にて～

2023年1月に完成した新しい岐阜県庁舎の議会棟を高殿尚県議会議員のご案内のもと視察させていただきました。現在村が取り組んでいる村の新庁舎建設に向け議会関連施設の在り方の検討も始めています。

第48号

令和7年1月14日
発行

CONTENTS

新年のご挨拶	2	議会の活動報告	6
議決結果のツボを解く	3	定例会一般質問	8
第5回総務産業常任委員会報告 ..	4	これが私の生きる道	14
第4回世界遺産保存対策特別委員会審査報告 ..	4	議会傍聴案内	14
第3回新庁舎建設特別委員会報告 ..	5	編集後記	14
令和6年度議会政務調査報告 ..	5		



白川村

shirakawa village



新年のご挨拶

白川村議会 議長 大田 忠広

新年明けましておめでとうございます。

平素は、白川村議会の活動にご理解、ご交配を賜り、議会を代表して厚くお礼を申し上げ、本年も宜しく願いいたします。

観光客の入込み状況もコロナ以前の様子を上回る勢いを取り戻しています。秋から全国的にコロナやインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等が村内でも流行しています。各々が感染をしないよう、しっかりとした感染対策をとっていただきますようお願いいたします。

白川村では「白水の滝」が滝として岐阜県内では初めて国名勝の指定を受け、シンポジウムが開催されました。今後の観光資源の活用に大きな期待をしています。

世界ではロシアとウクライナ紛争が止まない状況が続く、更にはシリアが崩壊。アメリカでは次期大統領にトランプ氏が決まる等、様々な懸念を抱えています。

日本では与党が過半数の議席を割るなど、国内情勢も今後の動きに目が離せない状況です。1月には岐阜県知事の選挙も控えています。日本が平和であるがゆえにしっかりと強い政治を進めて行かなければなりません。

「いつまでも住み続けたい村づくり」を目指し、全力で尽くして参ります。村民皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶

白川村議会 副議長 森崎 敏克

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてから、1年以上が経とうとしています。観光客もインバウンドを筆頭にコロナ禍前より増加傾向にあります。

しかし、白川村もオーバーツーリズムとなり、村民の皆さんの生活にも影響が出ています。対策として、昨年岐阜県で滝として初めて「国指定名勝」に指定された白水滝をはじめ南部地区の観光資源を利用して、観光客の分散化を図り多様性のある観光を目指し、素晴らしい観光立村になるよう議会、行政も努力してまいります。

白川村を取り巻くインフラも、東海北陸自動車道は白川郷インターから富山側は4車線化工事が全線で着工していますし、国道156号線御母衣湖周辺はほぼ整備され、尾神橋も順調に工事が進んでおります。持続可能な白川村を目指し、議会も執行・行政と共に全力を尽くしてまいります。

村民皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨時会 広報

第5回議会臨時会を令和6年10月11日(金)に開催しました。
 本会では主に衆議院議員選挙に伴う新規予算による一般会計の補正予算案について審議し原案のとおり可決しました。

◎一般会計補正予算(第5号)

▼歳入歳出それぞれ262万円が増額。議会費や衆議院議員選挙費、観光費の事業費へ県委託金と予備費の補正が行われました。

議会 広報

第4回議会定例会は、令和6年12月10日(火)から12月17日(火)の会期で開催し、条例改正や補正予算、第2次総合戦略(後期)等について慎重審議を行い原案どおり可決しました。

議決結果のツボを解く

◆第4回議会定例会◆

●白川村職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

宿泊を伴う旅費の見直しを講じるもの。

●過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴う白川村固定資産税の特例に関する条例

村内の過疎地域における固定資産税の特例を定めるため。

●刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

刑法等一部改正に伴い、白川村関係条例の改正。

●白川村第2次総合戦略(後期)いつまでも住み続けたい村づくりマスタープラン

計画期間: 令和7年～令和11年度の5年間
 「人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる」を目標に置く。

●補正予算(5件)

令和6年度白川村一般会計及び特別会計補正予算について次のとおり議決しました。

- ・白川村一般会計補正予算(第6号)
- ・白川村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ・白川村簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- ・白川村下水道事業補正予算(第2号)
- ・白川村温泉開発特別会計補正予算(第2号)



第5回 総務産業常任委員会報告

委員長 大田 貢

Q 東海北陸自動車道4車線化事業に関する盛土場について

A 東海北陸自動車4車線化事業に伴い以前より計画しておりました島盛土場について関西電力株式会社用地及び実測が完了致しましたので島盛土場事業に向けて進めていきます。

Q 畜産環境対策事業の進捗及び今後の方針について

A 今年の11月の白川村畜産環境対策モニターの結果・例年臭いが少なくなる時期であるが臭わないとの回答がすべての時間帯で昨年度を上回る結果となりました。また、モニター回収の際には「臭いが少なくなったが朝少し気になる日がある」との意見があるため、来年度に向けて専門家と相談しながら新たな対策を行い臭気0に向けて取り組んでいきます。

第4回 世界遺産保存対策特別委員会審査報告

委員長 大田 忠広

このコーナーでは世界遺産保存対策特別委員会で審議した案件の報告を紹介いたします。

◎白川村荻町重要伝統的建造物群保存地区における防災計画策定における検討事項

荻町重要伝統的建造物群保存地区の防災計画策定に向けた課題の抽出及び対策方針の提案を受けました。災害としては、火災、地震、土砂災害、雪が想定されるが、防火、地震を中心として、土砂災害はその他の災害、雪害については掲載の有無を検討する等の詳細な報告説明がありました。

◎茅の自給率向上に向けた取り組み

令和6年度より茅場の管理は有限会社サンフラワーに委託。また、良質な茅が育つよう、茅場の土壌を整える目的から令和5年から試行する野焼きについては、消防体制を強化する為中部分団の応援を要請し、野焼き面積を拡大して実施。収穫量も増加等の詳細な報告説明がありました。

◎荻町地内の危険空家対応状況

- ① 1件の空き倉庫は9月解体完了
- ② 1件の空家は12月4日から解体
- ③ 1件の所有者不明家屋は現在手続き中



上記①②は対象経費（解体とその撤去のみ）の10分の7の額で助成。

上記③は特殊案件として全額助成（管理人による管理に含む）等詳細な報告説明がありました。

●危険家屋解体にかかる費用負担については、白川郷合掌造り集落整備事業助成検討委員会において地域の総意を得られた案件を協議します。

第3回 新庁舎建設特別委員会報告

[令和6年12月11日(水)に開催された新庁舎建設特別委員会で審議した案件の報告をご紹介します]

◎白川村新庁舎建設事業基本設計・実施設計業務公募型プロポーザルについて

公募型プロポーザルの審査は「白川村プロポーザル審査委員会」が行い、当該審査結果をもとに新庁舎建築設計業務委託業者を決定します。

プロポーザル委員会は村外有識者(大学教授等)4名及び村関係者3名で構成。最優秀者の特定は①一次審査及び②二次審査の2段階審査方式にて実施し、審査の経過及び総括的な講評は、二次審査終了後、白川村ホームページに掲載します。

令和6年度議会政務調査報告

今年度の議会政務調査のテーマを「新庁舎建設」とし11月13日(水)14日(木)に岡山県西栗倉村を中心に行政視察を実施しました。西栗倉村は人口1333人、世帯数601世帯と白川村とほぼ同じ行政規模の村で、議員定数も西栗倉村8人、庁舎勤務の職員数も41人と白川村の状況と驚くほど似ています。そんな西栗倉村役場庁舎は令和3年に完成した新庁舎です。建設に至るまでの取り組みや運用3年を経過しての感想など当時建設を担当された総務企画課長さんにお話しをお伺いしながら見学をさせていただきました。西栗倉新庁舎は図書館や多目的ホールなどの生涯学習施設が併設した複合型の庁舎で執務室もオープンな雰囲気では生涯学習施設ゾーンには地元の子供たちが楽しそうに施設を活用している雰囲気が印象的でした。今回は「新庁舎議事室の方向性を探る」目的もあり、ホール併用型の議事室を見学させていただき議員一同白川村における議事室の在り方に思いを巡らせました。



▲解放的な執務室



▲ホール併用の議事室でお話を伺いました。

10月活動報告

日にち	議会議員	正副議長	監査委員
1日(火)		酒蔵建設記者発表	
2日(水)	三重県町村議会 議長会行政視察		
8日(火)		岐阜県町村議会議長会定期総会、 正副議長研修会	
11日(金)	第5回議会臨時会・第2次総合戦略(後期) 議会説明会		
21日(月)			例月出納検査
23日(水)	関市議会・白川村議会交流懇談会		
24日(木)		第2次総合戦略第3回審議会	
26日(土)	白水滝シンポジウム		
28日(月)	岐阜県浄化槽連合会大会		
29日(火)		木の日要望活動	
31日(木)	高山市・白川村音楽会		

11月活動報告

日にち	議会議員	正副議長	監査委員
1日(金)	定例議員懇談会		
5日(火)	地方自治連絡協議会		
13日(水)	政務調査西栗倉村行政視察		
14日(木)	政務調査西栗倉村行政視察		
15日(金)		中部縦貫・北陸関東広域道路建設 促進同盟会令和6年度定期総会	
18日(月)	総務産業常任委員会・現地視察		
20日(水)			例月出納検査
21日(木)		飛騨地域議長会議	
24日(日)		国民文化祭閉会式	
28日(木)	白川郷学園研究公表会		

12月活動報告

日にち	議会議員	正副議長	監査委員
2日(月)		岐阜県町村議会議長会理事会 評議員会	
3日(火)		第2次総合戦略(後期) 戦略委員会	
4日(水)	議会運営委員会・執行との懇談会		
5日(木)	議会学校訪問		
7日(土)	白川郷学園地域公開日		
8日(日)		南砺市誕生20周年記念式典	
10日(火)	第4回議会定例会(初日)・総務産業常任委員会 ・広報委員会・定例議員懇談会		
11日(水)	世界遺産保存対策特別委員会 ・新庁舎建設特別委員会		
12日(木)		新庁舎プロポーザル審査委員会	
14日(土)		飛騨市制施行20周年記念式典	
17日(火)	第4回議会定例会(最終日)		
23日(月)		天皇皇后両陛下奉迎委員会 総会	
24日(火)			例月出納検査
26日(木)	渡辺酒造(株)との懇談会		



▲10月8日：岐阜県町村議会議員会（正副議長）



▲10月23日：関市議会交流会



▲10月24日：第2次総合戦略説明会



▲11月13日：西栗倉村新庁舎行政視察



▲11月14日：関西電力本社CM事業研修



▲11月14日：岐阜県議会議事堂視察



▲11月18日：まめつて視察



▲11月18日：荻町交差点現地視察



▲11月18日：平瀬キャンプサイト視察



▲12月5日：白川郷学園訪問

白川村の更なる投票率向上・改革に向けて



大田 貢 議員

Q 投票率向上の為、18歳から20歳代までの選挙対策が必要だと思います。

A 該当世帯に対し不在者投票の請求用紙とマイナポータルにてオンラインで行える電子請求の情報も一緒に送付し、少しでも不在者投票に行っていただけるように配慮しています。不在者投票制度を保護者に理解していただけるよう区長会や村広報を通じて周知していきたいと考えております。

(成原総務課長)

Q 椿原投票区の改革は出来ないのか

A 村選挙管理委員会におきまして同投票区について協議は継続的になっております。「いかまいカー」などの活用策も併せて、地域と相談しながら時間をかけて村選挙管理委員会の中で検討させていただきます。

(成原総務課長)

ライトアップについて

Q 39回目のライトアップは4回の開催ですが妥当と思われますか？

A 近年とにかく雪が少なく、合掌の屋根に雪がなく、白い照り返しも無いため、まったく映えないライトアップにガッカリされるお客様が多くいる。その為、後半の2回を取りやめる決定がなされました。実行委員会の自主性を尊重して妥当だと考えております。

(吉實観光振興課長)

Q 人数制限については？

A 一回の平均人数は4,046人となっており、一日あたり4,000人の参加となるように車両の予約台数を制限しています。

(吉實観光振興課長)

Q ライトアップの抽選方法は？

A 非公開となっており、厳正に行われています。

(吉實観光振興課長)

Q 民家園に固定型ライトアップを設置して白川郷に泊まる人だけの特典・おもてなし・サービスが考えられないか？

A 民家園ライトアップの半分は固定型設置になっており、更なる常設は今後の検討となります。冬のライトアップについては、夜間の「であい橋」は通行が難しく、泊まる人だけの特典・おもてなし・サービスは現在では考えておりません。

(岩本副村長)

世界遺産における ユニバーサルデザインについて



平田 律代 議員

Q 障がいをお持ちの方、又高齢者の皆さんが楽しく世界遺産集落を散策していただける環境を作るためにはユニバーサルデザインの考え方に留意したユニバーサルシートを設置した公共トイレが必要です。又ハードな環境整備だけでなく心のバリアフリー化にむけての啓発を進めることが重要と考えます。

A ユニバーサルデザインについては非常に重要と考えております。以前、旧荻町駐車場公衆トイレにオストメイト対応トイレへの改良工事を担当しましたが、既にある限られたスペースの中での整備の難しさを感じました。今後新庁舎建設等も控えておりますが、ユニバーサルデザインの考えも取り入れながら進めていけるといいのではないかと思います。

(古田村民課長)

A バリアフリー化は近々の課題ですが、まずは保存地区周辺の施設にユニバーサルシートを設置することなど間接的にバリアフリー化を推進することで代替策とし段階的な検討と整備を進めていきたいと考えます。

(田口教育委員会事務局長)

A 建て直しや改築が必要なものとして、みだしま駐車場の公衆トイレやせせらぎ公園駐車場の公衆トイレがあげられます。今後、修繕・改修等の予定など適切な計画を立て実施してまいりたいと思います。

(吉實観光振興課長)

Q 荻町集落のマップが情報過多のためか、見辛く感じています。今後紙媒体としてのマップが必要なものなのかを含め検討いただきたいと思います。

A マップにつきましては、今後大きな仕様変更はありませんが、環境保護の観点から配布量を減らす努力や、デジタルマップの導入などにより段階的に紙マップを減らすことも考えています。

(吉實観光課長)

統括として

バリアフリー化を含めてのユニバーサルデザイン、心のバリアフリー化への努力は非常に重要と考えております。今後も実直な意見交換を行う中で実現を目指してまいりたいと思っております。

マップについては一定数観光客の皆さんに求められているもので、公平性の観点からも現状の形になっておりますが、不必要なものが捨てられている、というお話も耳にします。今後徐々に解決にむけて努力したいと考えています。

(成原村長)

南部地域の活性化に向けた基本構想について



川田 一浩 議員

Q 大白川の白水滝が国の名勝に指定されました。大白川園地には、ナラブナの原生林や白水湖、多くの効能がある大白川温泉。あまり知られてはいませんが、園地内には、薬効の高い植物が数百種類あり貴重な絶滅危惧種の植物も存在します。その他にも南部地域には、埋蔵金が眠る帰雲城という夢とロマンが語り継がれる伝説や過去に東洋一のロック・フィールドダムの御母衣ダムなど有形無形を問わず、数多く魅了される資源が存在します。今後、村としては、南部地域への地域振興について受入体制の整備を含め、総合的な戦略についてどのようにお考えなのか？お聞かせ下さい。

Q そこで、今後の大白川を含め南部地域の地域振興にあたっては、主体となって取り組む拠点は、南部地域はキャンプ場やしらみずの湯、大白川園地は、レイクサイドロッジの考えで宜しいか？

A その通りです。南部地域は、観光協会の事務所がないので、道の駅ひだ白山にも拠点機能を担っていただきたいと思います。
(吉實観光振興課長)

A 地域住民の意見を汲み取りながら地域に眠る様々なアイデアを実現できる地域コーディネーターの登用や研究者や学生等による調査を通じて地域を活性化していきます。
(吉實観光振興課長)

Q 今後は、自然環境を配慮しつつ白水滝の滝つぼまでの歩道整備の充実を図ることによって、より一層多くの来訪者に期待が持てるが、歩道整備の計画は？

A 荻町合掌集落については文化史的価値を求めてくる客層であり、南部地域には自然資源を求めてくる客層なので、一体となった分散型観光は困難ではないか。地域振興方策については、来年から数年かけて策定に取組みます。
(成原村長)

A 現状では、構造物を設置しても冬期間で崩壊してしまうので、迂回ルートの策定に取り組んで参ります。
(成原村長)

総合的な子育て支援施策について

Q 地の自治体では、新入学児童にランドセルを無償で贈る支援や高等学校等への就学に要する費用を助成しているとお聞きします。村民が、住みたい村、住み続けたい村として維持継続を図って行くには、子育て支援も重要な施策であると感じます。白川村の高校等への通学費の支援や給食費無料化についての考え方、近隣の高山市、飛騨市では高校生までの医療費の無償化支援がなされていますが、白川村としての支援のお考えがあるのか？その他に、他市町村にはない村独自の様々な子育て支援策についての考えはあるのか？財政的負担の問題が生じることでありますので、財源を含め今後の総合的な支援施策についての考え方をお聞かせ下さい。

Q 議員ご自身も子育てされています。その中で過去にこういった子育て支援があれば助かったと思われる支援はないか？
(成原村長)

A 通学費等の支援については、村に住所を有する全高校生に対しての支援を検討しております。財源は、ふるさと納税寄付金を考えています。給食費の無償化については、国が無償化への検討を図っているため状況を見計らいながら対策を講じてまいります。
(田口教育事務局長)

A 多子家庭への支援の拡充と国の教育ローン等の返済に係る利子補給を検討頂けると助かります。
(川田議員)

A 高校生までの医療費の無償化については、医療費自体が少額であり、医療機関への過度の負担を生み出す可能性があること、入院となっても高額療養費等の対応で負担も抑えられる現状と児童手当の拡充から支援を行う予定はありません。村の独自の子育て支援については検討段階ではありますが、在宅育児手当支給事業として幼児を日中家庭で子育てする保護者に対して月額2万5千円を児童手当に併せて支給、拡大事業として学童事業を放課後児童健全育成事業に変更し、通年開設化する予定です。住民健診を8年生までに拡大する予定です。
(古田村民課長)

A 利子補給については、担当課である教育委員会に検討させます。
(成原村長)

A 親が責任を持って子育てする大原則を守る中で支援が出来ればと思います。
(成原村長)

国指定名勝白水滝と大白川園地 今後の事業開発について



坂本 正代 議員

Q 以前質問が上がっておりました、「大白川園地道路整備事業において関係企業との基金の設立や事業費を補填するといった取り組みを考えながら県に対し道路整備を要望していかなければならないのでは」との質問を受け、現在行政は、大白川園地と白水滝の開発を温泉も含めどのように考え取り組んでいくのかお聞かせください。

A 県では、今年度調査費を計上し路線全体の調査をしていると伺っております。今後は調査結果をもとに現実可能な改良の規模を定めて行く事になるかと考えております。企業との基金設立は年度ごとにかかった費用については協力出来るが、基金としては難しいと言われております。今後も関係企業への説明と協力をお願いしてまいります。道路整備については、今まで改良が出来なかった箇所が県の調査も入り、一歩ずつでは有りますが進み始めましたので大白川園地と白水滝の活性化が図られると確信しております。

(鈴口建設課長)

A 大白川園地と白水滝という素晴らしい自然について保護と保全をしっかりと行いながら質の高い観光に繋げていければと考えており、好評なアクティビティー事業者を支援し南部地域の活性化に繋げればと考えております。

(吉實観光振興課長)

A 温泉に関して、行政の現在の考えとしては守っていきたいが、事業者利用の減少や今後を見極め南部地域の活性化のためには、利用者を増やし大白川園地等の活用を含めどうしていくのか来年度に計画を策定する予定です。

(成原村長)



「白川郷産米」「白川郷産地酒」に期待!



宮部 俊典 議員

Q 村の政策「おいしいお米プロジェクト」が順調に推移しておりますが、作付面積が限りがある中で今後酒造誘致による酒米の需要も加わりますが、双方の兼ね合いがうまくいく様をお願いしたい。

A 村としては作付面積を増やして、増産すべき品種は酒米、作付面積を増やさず販売単価を上げる品種を主食米として位置づけ主要な農家さんと共有し両プロジェクトの目標が達成できる様努めてまいりたいと存じます。

(高島産業課長)

学園の英会話教育について

Q 白川郷学園の地域公開日に廊下に設置されたモニターに、学園生徒が外国人との英会話の様子が写し出され、観光地ならではの生きた英会話の学習を見て非常に良いことであると思い今後も積極的に実施していただきたいと考えます。

A 毎年の学年行事として6年生は白川村ジュニア観光大使の任命を受け「村民学」の時間を中心に英語力とプレゼンテーション能力を身につけながら、多くの方に村の素晴らしさを発信しています。村には外国人観光客が訪れ生の英語を学ぶ機会がありますので、更に英語によるコミュニケーション能力が高まるように学習内容の在り方について見直しを行なっております。

(田口教育委員会事務局長)

除雪の融雪剤について

Q 豪雪地の本村では除雪作業により村民の安全安心を確保して頂き本当に有難く思います。反面融雪剤により車の足回りの傷みがでるとの多くの意見もあります。何か良い対策を考える事は出来ないものか。

A 対策としてはこまめに下回りの水洗いをする、コーティングをするなどの方法がありますが融雪剤の散布をやめるということは現実的に不可能であり、雪国全体の課題となり判断は難しいと思われます。

(鈴口建設課長)

車道を歩くインバウンド客の安全確保は？



森崎 敏克 議員

Q インバウンドの増加によりスーツケースを引いた外国人観光客をよく見かけます。特に積雪時は、白川橋の車道を歩く姿が見られとても危険な状況です。観光客の移動ルートを旧白川小学校の方面に誘導することも対策かと思います。今後の対応を伺います。

A バスターミナル以北の宿泊事業者との意見交換会を開催し、安全対策について協議しています。事業者との連絡体制を構築し、情報伝達がしやすい環境をつくり、安全対策を推進していきます。効果的な案内看板の設置位置の検討や、宿泊施設名が入った案内看板の共同設置に係る負担金の徴収などについて合意を得て、安全対策を推進してまいります。

(吉實観光振興課長)

鳩谷、飯島地区のバイパス歩道の除雪体制は？

Q 歩道を通行しないで車道を歩く外国人観光客は歩道に雪があり歩きにくいために車道を歩く可能性があります。

A 岐阜県管理道路の歩道除雪の基準は20cmですが白川村は観光地ということで10cmで除雪しています。

(鈴口建設課長)

白川村の企業誘致について

Q 白川村は、企業誘致施策を開始して3事業を実施し、現在4事業目を実施しています。企業誘致の根幹の目的は、6次産業化の推進・村民雇用の場の確保・村の人口の増加等が目的であったと思います。開始当時より年数が経ち、働き手の確保に困窮している白川村の実態、また村の1次産業は米の生産に絞られている現状から企業誘致の目的の変更が余儀なくされていると考えます。白川村の企業誘致の今後の方針をお尋ねします。

A 企業誘致の今後の方針ですが、当初と変わらず「村の人口維持以上を目指す」うえでの「産業構造の改革による利益の村内循環」を目指し、企業誘致という手段に拘らず各種施策を実施してまいりたいと考えます。

(高島産業課長)

これが私の生きる道 ～ どうしてあなたは、白川村に？ ～

ご縁があって白川村に来てくれたあなたに本音のインタビューをさせて下さい。
みなさん、こんにちは今回は8人目の方にインタビューさせて頂きました。忙しい中
ご協力ありがとうございました。人生色々、考え方も色々です。ご縁があって白川
村に住んで10年の方に感想や思いを語って頂きました。

これが私の生きる道この記事を読んで何かしら感じ取っていただいたら幸いです。

Q 村に住むことになって辛いと思ったこと、そんな時とった行動やエピソードは？

A 車で遠くへドライブする



Q あなたの支えとなったものは、何ですか？

A 家族、夜空などの美しい自然。

Q 村や地域にあるといいな～と思うものは何かありますか？

A 高校・大学
(その年代の若者がいないから)

Q あなたは、今幸せですか？

A はい！

人生の選択肢の中で一番大きな影響があると思うのは、どこで住んで暮らしていくのかではないでしょうか。自身の心と身体を安定させ向上させてくれる場所、白川村もふるさととして暮らす最高の場所を目指していかなければとあらためて思うインタビューなのでありました。

坂本 正代

議会傍聴案内

白川村議会ホームページは
こちらからご覧いただけます。

- 議会定例会（3月・6月・9月・12月）や、臨時議会は傍聴することができます。
- 定例議会の開会時間は、4月から11月が午前9時、12月から3月が午前10時からです。
- 傍聴される方は、開会時間15分前までに総務課までお申し出ください。

- 次回、3月議会定例会の議事日程運営は、3月上旬に白川村議会ホームページで確認することができます。また、一般質問通告の題目についても掲載しています。
- ご確認の上、ぜひ村づくりの議論を傍聴くださいますようお願いいたします。



編集後記

議会だよりを読んで頂きありがとうございます。新年を迎え気持ちも新たに、皆様に見やすく解りやすい紙面を提供出来ますように頑張っています。今年もオーバートリズム、企業誘致、新庁舎建設等様々な問題や課題に向き合いながら村民皆様方の安心・安全な暮らしを向上させるための情報を配信していこうと思います。皆様の声をお寄せください。

坂本 正代

